

自治体

あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2021.6.10
No.1247

発行責任者 林 達也 定価10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

県本部保育所部会
わくわくあそびTime
ZOOM開催

講演：「ステキを見つける保育のヒント」
(講師 日本福祉大学名誉教授 近藤直子さん)

日時：6月20日(日) 9:30～12:00

登録は
こちらから
(保育所部会
公式ライン
アカウント)

憲法を職場と
地域にいかす

デジタル改革関連法が成立し、自治体のデジタル化の動きが急ピッチです。デジタル技術の導入は、住民の暮らしと職員の労働条件改善に活用することを求めます。

学習や要求書提出など、労使交渉で一方的な導入をさせないとりくみをすすめます。(2面を読みましょう)

賃金引き上げ、
労働者の権利の拡充

8月に予定される人事院勧告に向けた署名(人事院総裁宛と内閣総理大臣宛)にとりくんでいます。愛知県の最低賃金を1500円に引き上げを求める署名とあわせて、広げます。

人事院勧告 一宮なほみ 殿

賃金改善とあらゆる格差の解消を求める署名

内閣総理大臣 菅 義偉 殿

公務・公共サービス、教育の拡充を求める署名

6月4日、国家公務員の定年を65歳にする法案が成立しました。同時に、地方公務員法も改正されました。自治体の条例で定められる事項もあり、誰もが安心して働き続けられ、公務公共サービスの向上につながる制度とするため、とりくみを強めることが必要です。

学習をすすめ、課題や要求について職場で話し合ってみましょう。

いざ！夏の組合活動

自治労連愛知県本部は、7月17日(土)に定期大会を開催します。今、県本部と各単組で一人ひとりが参加する夏期のとりくみをすすめています。職場の実態や要求を持ち寄って、新しい1年を元気にスタートする大会にしましょう。

仲間を増やそう

会計年度任用職員制度が発足して1年が経過、課題は山積です。県本部では、加入のお誘いチラシを作成。仲間を増やして処遇改善をめざします。みなさんの近くにいる未加入の人に、まずはお渡ししてみましょう。



人間らしく働ける
職場づくり

職場には、元気に働き続けるために解決が必要な課題がたくさんあります。アンケートなどでは、「今、一番切実な要求は人員増」という声も。職場実態をもとに必要な人員増を要求書にして、所属長や自治体側に提出しましょう。

春日井市職労がとりくんだ、人事評価制度のアンケートは、組合員数をこえて集まりました。多くの職員から疑問の声が寄せられ、単組ではこれを交渉にいかします。



春日井市職労
土岐委員長

若手同士の
絆を深めよう！

交流する場が作れない、つながれないなど、集まるのが難しくなっています。

県本部青年部は7月10日に、青年が集う場、オンライン「あいち青年集会」を開催します。午後は、長野や静岡など他県の仲間と交流します。参加者募集中です。

同世代の青年と交流して、息抜きしませんか？みなさんのご参加お待ちしております！



県本部青年部部長
益田 実季さん

社会保障の充実

コロナ禍で、住民のいのちと暮らしを支える社会保障の拡充、行政の役割がますます求められています。名古屋市は唯一の直営特別養護老人ホーム厚生院を廃止する方針です。

低所得の方の入所先の確保がますます困難になります。

名古屋市職労は、社保協など他団体と共同して、「厚生院を守る会」(仮称)で市側に要望書を提出。今後、懇談会にもとりくみます。

「言いたい劇場」小菅りや子



そろうそろう風水害に備えて地域のマップを...
「言いたい劇場」小菅りや子
毎年大雨も大きな被害も...
「言いたい劇場」小菅りや子
「言いたい劇場」小菅りや子
「言いたい劇場」小菅りや子

みんなの安心
自治労連共済

自治体のデジタル化



自治労連が参加する実行委員会は、5月29日、労働会館で「第26回あいち機関紙宣伝学校・春」を開催。

取材、記事、見出してナニ？

第26回機関紙宣伝学校・春



御崎さんの講演（左下）の後には、互いの機関紙で勉強！（上）、「いい新聞がつくれそう」と安井さん（右下）

「見出してナニ？」など学びました。2つのワークショップでは、持ち寄った機関紙

はじめて参加した安井悦子さん（名古屋市中職労）は、「取材の仕方や書き方、見出しの付け方など大変勉強になった。他団体の新聞を見て、ヒントがたくさんもらえた。秋の講座も楽しみ。今日学んだことを今後に生かしたい。良い成果が出せる気がしてきた」と感想を寄せました。

実行委員会は、10月31日（日）に秋の講座を開催予定。ご期待！

住民のプライバシーは守れるか AIは職員の代替になるのか

総務省は、自治体の「デジタル化」に向けてDX計画を策定し、マイナンバーカードの普及、行政手続きのオンライン化などをすすめています。5月22日、県本部は、地方自治問題研究機構の久保貴裕さんを講師に、自治体のデジタル化について学習会を開催しました。

個人情報・プライバシーは守られるのか？

これまで、各自治体は個人情報保護条例を設けて、オンライン結合の原則禁止など国よりも厳し

い独自の規制を行い、住民の権利、プライバシーを守ってきました。

職員をAIに置き換えて住民は？

国は、従来の半分の職員でも機能できる「スマート自治体」をめざしています。最初のターゲットは窓口業務。総務省は、「人（職員）」が介在しなくても完結するサービスをめざす。「マイナンバー」を活用した無人窓口も実現可能ではないか」と発言しています。

久保さんは「窓口業務の職員には、住民の個人情報やプライバシーを適切に管理し、犯罪や人権侵害から住民を保護することが求められる。申請者に対して、不審な点があれば質問

し、相手の挙動なども観察しながら虚偽を見抜く能力も必要とされる」と職員を配置する必要性を解説しました。

労働組合として、どう臨むのか？

久保さんは、「住民の個人情報、プライバシー保護の権利を守る。そして地方自治の本旨に基づき、自治体独自の住民サービスを確保する。また、デジタル・AI技術は職員の『代替手段』ではなく『補助手段』として活用させる」と自治体のデジタル化に労働組合として臨む姿勢について話しました。

仕事する上でも、交流は大切 犬山市職労 オンラインで新人歓迎会



長引くコロナ禍で、今年度も新規採用職員の歓迎会や交流会の開催が難しい状況です。そのなかで、犬山市職労は、5月28日にオンラインの新人歓迎会を開催。「今は昼食休憩も黙食で、職場でもフランクな会話はあまりできません。全く交流ができないのは一緒に仕事していく上で、良

くありません」と吉野書記長は開催した思いを話します。交流会では、参加者の自宅での飲食代を組合が千円補助。買ってきた食べ物や飲み物を紹介して打ち解けると、気が合う仲間を見つけたというコミュニケーションゲーム「そらったさん」で盛り上がりました。また、執行委員会の四役が、参加者の話の懸け橋になりました。

労働組合で、働いてみませんか？

書記局員募集

職種：事務 [1名]

自治労連愛知県本部

〒462-0845 名古屋市中区柳原三丁目7番8号
電話 (052) 916-2251 FAX (052) 916-2308 E-mail: info@jachi.jp

職務内容 ▶ 労働組合にかかわる実務一般（フルタイム）
応募方法 ▶ ①写真履歴書②作文「時事問題と所感」1000字程度
※自筆でお書きください。
応募期限 ▶ 6月25日（金）
詳細は、県本部までお問合せ下さい。

名古屋港水族館

好評！熱中！
特別割引チケット

券種	通常価格	特別価格
大人	2,030円	1,620円
高校生	2,030円	1,420円
小中学生	1,010円	710円
幼児	500円	350円

詳しくは各組合事務所・役員まで！

安心して学校生活を送るための予算が下りるようになりました。（渋谷高司・名古屋市中職労）

仲間の声

★新型コロナウイルスの対応で、通常業務の削減・縮小を余儀なくされています。

（近藤裕・豊橋市中職労）

★こんにちは！新入社員として働き始めて2ヶ月が経とうとしていま

す。まだまだ教わることばかりで大変ですが、先輩に追いつけるよう頑張ります！（瀧本大・岩倉市職）

★女性が働き続けるためにも、各種制度の改善は大切です。学校も今年度から女子児童が